

「静岡県工賃向上計画」の推進

1 静岡県工賃向上計画

【計画の概要】

○静岡県工賃向上計画 ～ 障害のある人が地域で自立した生活を送るために ～

①目的 工賃水準の向上を図る取組を推進し、障害のある人が地域でより自立した生活を営める環境づくりを促進する。

②対象事業所 就労継続支援B型事業所

③計画期間 令和3年度～令和5年度

④基本的方針 国の基本的な指針や本県の実情を踏まえ、『目指すべき目標工賃月額を30,000円』に定め、その実現のために官民一体となった取組を行う。

⑤目標数値

区分	目標数値	考え方
県目標平均工賃月額 (令和5年度)	20,000円	全国トップ5並みの工賃水準額を目指
各事業所が目指すべき目標工賃伸び率	対前年伸び率 5%	全体を底上げし、すべての事業所が達成すべき伸び率

2 工賃実績

(1) 工賃実績の推移

(単位：円、か所、人)

項目	就労継続支援A型事業所			就労継続支援B型事業所 (工賃向上計画対象施設)				
	R元年度	R2年度	R3年度	H18年度	R元年度	R2年度	R3年度	
本 県	平均工賃月額	79,543	79,552	80,692	13,661	16,511	15,529	16,468
	対前年伸び率	2.4%	0.0%	1.4%	-	1.4%	△ 5.9%	6.0%
	対象施設数	101	115	134	90	366	397	425
	対象延べ人数	21,350	23,269	24,902	27,911	85,416	90,344	97,072
全国平均工賃月額	78,975	79,625	81,645	12,222	16,369	15,776	16,507	

(2) 工賃向上対象施設(就労継続支援B型事業所)の工賃分布状況 (令和3年度)

	工賃分布						計
	～10,000円	～20,000円	～30,000円	～40,000円	～50,000円	50,001円～	
施設数	111	205	81	23	4	1	425
割合	26.1%	48.2%	19.1%	5.4%	0.9%	0.2%	100%
平均工賃(円)	7,331	14,464	23,552	33,810	47,227	50,280	—

農福連携による工賃向上支援事業費

1 目的

農業分野の担い手不足の解消に努めるとともに、障害のある人の農業分野での職域拡大を支援することで、工賃向上及び農業分野での一般就労の拡大を図る。

2 背景

- ・農業分野では農業従事者の減少・高齢化が見られる。
- ・工賃向上のために、障害のある人の職域拡大が必要である。

3 支援対象

就労継続支援（A型・B型）事業所

4 事業内容

区分	内容
農業技術等向上研修	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修（農家・農業法人・先進的福祉事業所を講師とした研修） ・実践型研修（参加者が操作や作業等を体験できる研修）
実習	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家派遣等により、事業所や農場等において農業技術について学ぶ研修
6次産業進出支援	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物加工販売個別支援（専門家派遣等）
施設外就労のマッチング支援	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産者と障害福祉サービス事業所による施設外就労等のマッチング支援の実施（R2.6月ワンストップ窓口開設）
マルシェ実施	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で製造した農産物と加工品の販売会の実施
農業関連ふじのくに福産品ブランド化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・製品改良個別支援と販売促進支援による農産物、加工品のブランド化支援

5 事業スキーム



ふじのくに福産品一人一品運動等について

1 要旨

障害のある人の工賃向上等のため、授産品の愛称「ふじのくに福産品」とロゴマークを活用した一人一品運動を庁内外へ展開し、福産品の継続的な購入を呼び掛けていく。

2 概要

(1) 県民向け

	項目	内 容	時期（予定）
1	企業向け 一人一品運動 協力隊	<ul style="list-style-type: none"> ・福産品セット受注販売 ・募集対象：県内企業・団体 	募集：8月～10月 配布：10月～12月
3	地域密着型 一人一品運動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域（市町等）と福祉（事業所）、企業の連携を図り、福産品の改良支援や販売促進を実施 	8月～3月
4	農福マルシェ	事業所等で生産された、農産品等の販売会	随時
5	商業施設出店	福産品（食品・雑貨等）の販売会	随時

(2) 県職員向け

	項目	内 容	時期（予定）
1	県職員向け 一人一品運動 協力隊	<ul style="list-style-type: none"> ・福産品セット受注販売 ・募集対象：本庁全体（教委、警察含む）＋県内出先機関（知事部局） 	募集：4月～5月 配布：10月頃
2	販売促進フェア	県庁内で福産品の展示即売会を開催（夏・冬）	7月、2月



この一品
幸福（しあわせ）
産みだす

ふじのくに福産品ロゴマーク
とキャッチコピー



R4年度
サマーフェア

ふじのくに福産品新商品開発事業

1 要旨

障害のある人の工賃向上のため、売れる商品＝「スーパー福産品」の開発を支援することにより、福産品のブランド力向上を図り、販路拡大につなげる。

2 概要

	項目	内 容
1	対象	消費者ニーズに合わせた新商品開発への意欲がある事業所
2	支援内容	商品開発コーディネーター等を派遣

3 令和3年度の商品開発事例

商品名	御前崎漁師の茶漬け	ブロッコリーの茎を使ったスープ (すずなりフードロスプロジェクト)	本格韓国キムチ (白菜、大根、きゅうり)
事業所名 (所在市町)	ポトラッチ (御前崎市)	すずなりカレッジ磐田校 (磐田市)	アイリス (静岡市)
コンセプト	静岡食材を楽しめる贅沢 お茶漬けセット	手軽に栄養を摂りなが ら、フードロス削減！	キムチのヘビーユーザー (スーパーのキムチでは 物足りない人)
ターゲット	観光客、企業	アーリーアダプター (流行に敏感で情報収集 を積極的に行う層)	キムチ好きのための本場 韓国の味
商品特徴	<ul style="list-style-type: none">地元御前崎産の鯉のなめろうを具材として使用茶漬けの素(出汁)と茶漬け用ティーバッグもセット	<ul style="list-style-type: none">静岡県産の廃棄されていたブロッコリーの茎を利用栄養が多く含まれており、温めるだけで食べられる利便性がある	<ul style="list-style-type: none">国産野菜と本場韓国の調味料を使って熟成発酵させた本格的キムチいつでも手軽に購入できるよう焼き肉店前の自動販売機で販売
販売金額	850円/3袋	500円/1パック	白菜、大根：各450円 きゅうり：500円
販売予定場所	観光施設(なぶら市場)、ECサイト等	すずなりキッチン、エシカルイベント、ECサイト等	自動販売機、ECサイト

4 令和4年度の商品開発について

現在3事業所が新商品を開発中。完成品は令和5年3月22日(水)に公表予定。

知的障害者等居宅介護職員養成研修事業

1 目的

- ・ 障害のある人に居宅介護職員資格を取得してもらい、一般就労を促進する。
- ・ 障害のある人の、福祉サービスの担い手（提供者）としての可能性を広げる。

2 事業内容

項 目	内 容
研 修 名	居宅介護職員初任者研修
対 象 者	障害のある人で介護現場等へ一般就労を希望する人
研修内容	居宅介護職員資格取得のため、カリキュラムに沿って講義、演習等を実施する
実施地区	県内5地区（伊豆・東部・中部・中東遠・西部地区） ※各地区10名程度
講義時間	195時間＋修了試験（1時間）

3 事業の実績

（単位：人）

年度	H14～H22	H21～H24	H25～H30	R元	R 2	R 3	R 4	合計
区分	ホームヘルパー3級	ホームヘルパー2級	居宅介護職員初任者研修					/
修了者数	279	114	197	28	28	22	20	688
合格者数	/	/	197	27	28	22	20	294
就労者数	76	79	89	10	6	3	—	263 うち介護関係 192

ふじのくに福産品等SDGsパートナー認定制度(R5新規事業)

1 趣旨

- ・SDGsにかかる取組として福産品の購入企業等を対象とした認定制度を創設し購入等を促すことにより、安定的・継続的に売上げが見込める仕組みをつくる。
- ・企業にとっては、「認定企業」という明確な制度があることにより、自社の取組を投資家、取引先、消費者等にアピールしやすくなる。

2 事業内容

区分	内容
名称	ふじのくに福産品等SDGsパートナー認定制度
認定対象	<ul style="list-style-type: none">・(法人としての) 福産品の購入・(同) 役務の発注 ※認定基準については、精査中
運用	<ul style="list-style-type: none">・各企業から前年度の実績をもとに県あてに申請をさせ、認定証を交付し、公表する。有効期限は1年間とし、継続的な取組を促進する。・県との契約における入札で優遇し、認定取得のインセンティブにする。